

JOURNAL OF  
ENERGY CONSERVATION

# 省エネルギー

# 12

December 2010  
Vol. 62 / No. 12

知のコンパス..... 4  
IPCCへの懸念

東京大学名誉教授 茅 陽一

わが社の省エネ戦略..... 6

「省エネ無料診断」で体系化を図り、  
グループ全社で着実に省エネを推進する

イオン 社会貢献部長 泊 健守

## INFORMATION

省エネ家電普及促進フォーラム・

新会長に片山幹雄氏が選出..... 8

第1回「国際グリーンテック・エコプロダクツ展(IGEM)  
2010」/ ENEX 2011 & Smart Energy Japan 2011

来年2月に同時開催..... 10

「ビル省エネ診断技術者」資格認定研修、好評受付中... 11

省エネルギーセンターの講座..... 13

平成22年度 エネルギー管理講習下期「新規講習」

実施計画..... 14

施策動向..... 15

今月のキーワード 石炭ガス化複合発電(IGCC).. 21

IGCC実証試験の動向と展望

クリーンコールパワー研究所 取締役 武藤 武

## 特集 排熱回収の最新技術 ヒートポンプ、リジェネバーナ

排熱回収におけるヒートポンプ技術の動向と可能性 ..... 23

早稲田大学 基幹理工学部 教授 齋藤 潔

排熱回収型ヒートポンプETWとその適用例 ..... 27

三菱重工業(株) 冷熱事業本部 ヒートポンプ事業推進室 藤木 裕也

CO<sub>2</sub>熱風ヒートポンプ「エコシロッコ」の特性と効果的利用法 ..... 31

(株)前川製作所 環境・エネルギーブロック 産業グループ 米田 弘和

洗浄工程用ヒートポンプの開発  
～ 機械部品の洗浄液加温をヒートポンプで高効率に実現～ ..... 35

ゼネラルヒートポンプ工業(株) 開発部 部長 柴 芳郎

未利用温水のプロセス蒸気化システム ..... 38

東京ガス(株) ソリューション技術部 主任 梶山 啓輔

荏原冷熱システム(株) 製品事業部 主任 福住 幸大

三浦工業(株) 特機技術統括部 チーフエンジニア 藤村 幹樹

リジェネバーナの開発の歴史と最新動向 ..... 41

東京ガス(株) 産業エネルギー事業部 燃焼技術顧問 仲町 一郎

NFK HRS UXバーナ(連続燃焼リジェネバーナ)の特徴と利用例 ..... 45

日本ファーンズ(株) 宮田 誠, 軽石 健志, 石母田浩敬

リジェネバーナの最新機器の特性と効果的利用法 ..... 48

中外炉工業(株) サーモシステム事業部 部長 池田 勇

交番燃焼式に加え, 小型炉燃焼式も開発 ..... 53

ロザイ工業(株) 工業炉事業部 燃焼機グループ 部長 竹村信一郎

冬季の省エネルギー対策について.....	58
省エネの道具・もの・方法 歴史と今(最終回).....	66
エコ規制と技術開発 ますます重要となる法的規制は“もろ刃の剣” 工学博士 杉田 清	
ドキュメント チャレンジ省エネ No.36.....	68
全所員一丸となって実践する“EM活動”の展開 三菱電機 受配電システム製作所	
暮らしとエネルギー 省エネライフの社会学.....	72
最終回 振り返りと提言(2) 省エネリテラシーの向上を サステナブル・デザイン研究所 代表 西原 弘	
エネルギー管理士試験 やさしい計算問題の解き方	
熱分野 燃焼計算.....	74
電気分野 電気理論.....	76
私の合格体験記 エネルギー管理士(熱)	
これからのライフワークとして, 地域と地球環境への貢献をめざす 元 王子製紙(株) 日南工場 施設動力部勤務 齋藤 元	

掲示板.....	79
ニュースヘッドライン.....	80
E&Eプランニング 宮本 康弘	
製品紹介.....	82
日本データテクニカ / 桐生	
新製品ニュース.....	84
チノー / 東芝 / シーアンドシー・サンパック / リブ・ロック / 指月電機製作所 / サンエスオプテック / 丸文	
MAGAZINE & BOOK .....	86
『王道 省エネ推進 リーダーのための省エネルギーマネジメント』	
総目次.....	88
編集後記.....	96
巻末資料	
新・エネルギー管理のためのデータシートNo.162	
燃焼ガスの定圧比熱(その1)(液体燃料の場合) 東京電機大学 工学部 教授 高村 淑彦	

### 表紙のことば

最近CMなどでよく耳にする「ヒートポンプ」。最新技術のように思われがちですが、その誕生は19世紀。冷凍機として実用化されました。再生可能な新エネルギーを活用するヒートポンプの技術開発で日本は世界をリードしており、今後ますますなる期待がふくらみます。

